

共演する宮古、八重山の子どもたちと南風原高校の生徒＝4日、浦添市の国立劇場おきなわ



読んで  
広がる  
NIE

## 宮古・八重山から夢舞台

離島で芸能を学ぶ子どもたちに大舞台を経験させ、意欲を高めようとする「第2回 夢ステージ」が4日、浦添市の国立劇場おきなわで開催された。オーディションで選ばれた宮古、八重山の小中高生と県立南風原高校の生徒合わせて60人が生き生きとした舞台を見た。

宮古文化芸能社(宮古市)、白保企画(石垣市)の両社が県と県文化振興会の支援を受けて主催した。子どもたちは合宿を通して芸を磨き、本番では芝居仕立てで宮古、八重山、沖縄の民謡や舞踊を披露した。

石垣市立伊原間中学校2年の志田穂花さんは「地の文化を次の世代につなげていきたい」と力強く話した。宮古市立久松中学校3年の譜久島雄太君は「高校生や八重山の子は堂々と歌っていてすごい。負けないように頑張りたい」と気持ちを新たにしていた。

10日午後4時から石垣市の大川公民館、2月1日午後5時から宮古島市のマティタ市民劇場で凱旋公演がある。問い合わせは宮古文化芸能社☎0980(7)30111、白保企画☎0980(886)78805。